

令和6年度 第2学年 iD 課題研究Ⅰβ 今後のながれ

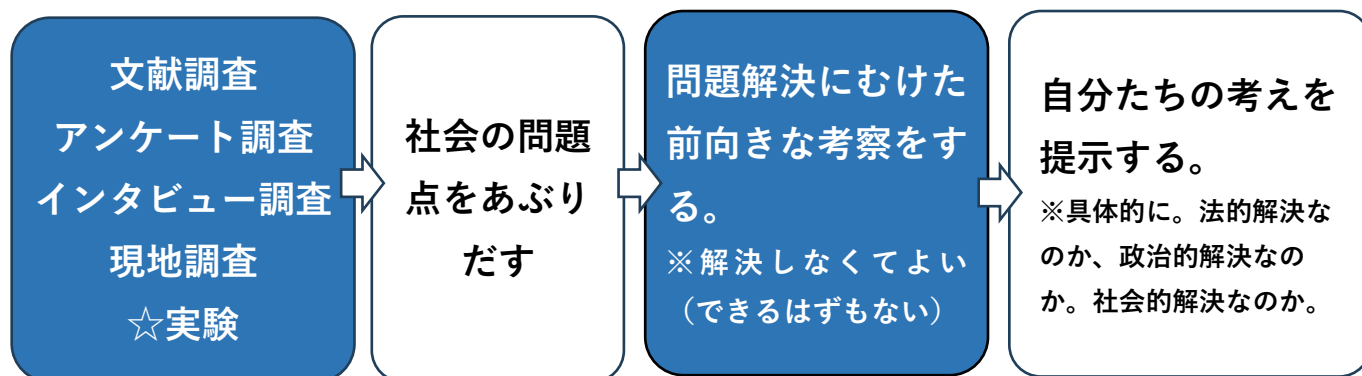
① 計画表

1	9月3日	
	9月10日	代休
2	9月17日	
3	9月24日	
4	10月1日	
5	10月8日	
	10月15日	中間考査
6	10月22日	
7	10月29日	
8	11月5日	
9	11月12日	
10	11月19日	
	中間発表（3年生探求系と） ※期末考査内	
	11月26日	期末考査
11	12月3日	
12	12月10日	
13	12月17日	
14		
	1月7日	課題テスト
15	1月14日	
16	1月21日	
17	1月28日	
18	2月4日	論文提出
	2月11日	建国記念の日
19	2月18日	
	2月25日	学年末考査
20	3月4日	
	3月11日	4限授業
21	3月18日	ポスター提出

*ポスター作成が3年生にずれこむことは想定内であるが、論文は年度内に完成させる。

*論文の作成の仕方については、後日、別途指示がある。

②自然科学的アプローチ研究のイメージ



③外部機関との連携について

研究を深める目的で外部機関と連携したい場合、担当の先生に相談すること。自分たちで連絡をとるより、学校の先生が仲介した方がうまくいく可能性がちょっとだけ高いかも。

今年度すでに仲介した機関等…刈谷市内の中学校、刈谷の子ども食堂、刈谷・知立の就業継続支援事業所
一般企業（寒天メーカー）、外国人留学生

④アンケートの配布について

「アンケートの作り方」の Word ファイルが、探求系 teams のファイルに入っているので参考にすること。
（“…”→開く→アプリで開く、の手順で開く）

アンケートを作成したら担当の先生に確認してもらうこと。自分たちの目的に応じたアンケート内容になっているだろうか。

例) 10代の投票率の低さの原因を調査したい → 刈高生に「(仮に投票権があったとして) 投票に行かない理由は何ですか」と聞く

* 「時間がない」「政治に興味がない」あたりが上位にくることが容易に想像できるが、わざわざアンケートをとる意味があるだろうか。同様の調査がすでにネット上にあるのでは？（教科書等でもよく見る）

* 「時間がない」や「政治に興味がない」という回答の中にも、人によってさまざまな背景（家庭的背景、教育的背景、選挙制度の問題など）があるはず。その1つ1つを研究で深めていかなければならないのに、このアンケートでは内容が浅すぎて有効な回答が得にくい。

アンケートを校内で実施したい場合は、作成後、Word データをそれぞれの講座の teams の「ファイル」にアップすること。さらに、アンケート対象者を担当の先生に伝える。「1年生」「全校生徒」「教員」「全校生徒および教員」。外部に依頼したい場合は担当の先生に相談する。

⑤役割分担について

みんなが実験で調べているものを社会的に導入しようとする

例) ア. コストはどのくらいのものになるか、イ. 障害となる法律はあるか、ウ. 倫理的な問題はないか、エ. 似たような前例はないか

などを分担して調べてみる。これらは中間発表（または本番）で質問があってもおかしくない内容。

↓

調べた結果、コストの面でも手間の面でも既存の技術にかなわない…となっても、「でも私たちの技術を使えばこの層の人々を救うことができる」と主張できれば、それは価値のある研究。

↓

こういったことを考えるためにも本時はア～エ（自分たちで何か加えても可）について調べてみる。

※今後も、 $\alpha\beta$ に関わらず、役割分担しながら多面的かつ効率的に研究を進めていく。人数をちゃんと生かす！

※終わり次第、社会科学的アプローチの研究・調査にとりかかる。上のア～エをそのまま生かしたテーマに変更してもよい。役割分担しながら！